

みやぎ

おおひら 議会だより



補正予算3億円
一般質問

みんなそろって七夕誕生会
(おおひら万葉こども園)

万葉クリエートパーク キャンプ場整備に4,630万円

補正の主なもの

◎歳入

防衛施設調整交付金 …… 1億2,390万円
コロナ対策国庫補助金 …… 2,302万円
基金繰入金 …… 3,735万円
村債 …… 1億1,480万円

◎歳出

村道改良整備 …… 1億7,012万円
クリエートパークキャンプ場整備… 4,630万円
医療・福祉施設特別支援金 …… 600万円
価格高騰支援商品券発行 …… 1,755万円
河川土砂浚渫 …… 3,030万円

◎各種会計補正額

会計別	補正前	補正額	予算額
一般会計	48億5,783万円	3億411万円	51億6,194万円
特別会計			
国民健康保険事業	5億5,700万円	△385万円	5億5,315万円
水道事業	2億3,337万円	46万円	2億3,383万円



クリエートパークキャンプ場予定地

令和5年第2回定例会は、6月6日から8日までの3日間にわたり開かれた。村長提出案件は、同意12件、条例制定1件、条例廃止1件、条例改正1件、村道路線認定1件、令和5年度予算の補正3件、報告1件の全20議案が提出され、全て原案どおり可決された。一般質問は8名の議員が質問し、8Pから15Pに掲載しています。

度予算の補正3件、報告1件の全20議案が提出され、全て原案どおり可決された。一般質問は8名の議員が質問し、8Pから15Pに掲載しています。

主な質疑

キャンプ場

問 クリエートパークキャンプ場整備工事の内容は常任委員会で説明と変更はあるのか。
答 工事期間と利用開始時期はいつか。

問 工事内容は大きく変わらないが、洗い場の場所を中央部に変更する。
答 工事は8月に発注し、来年4月からの利用開始を目標に進める。

問 キャンプ場整備には多額の予算がかかるが、利用者数や利用料収入、維持管理経費はいくら見込んでいるか。

答 年間利用者数6千人、利用料収入420万円、維持管理経費は281万円を見込んでいる。
指定管理委託料を下げるように目標設定していきたい。

防衛調整交付金

問 追加補正する交付金の充当事業と、今年度の交付金総額はいくらか。
答 交付金はクリエートパークキャンプ場整備、村道整備2件、給食センター整備基金に充当する。
交付金総額は2億255万円となるが、今後二次配分も見込まれる。

主な質疑

村道改良

問 村道改良工事の路線と工事内容は。
答 休止していた尾西2号線改良工事を再開、平場線の道路側溝整備、新規路線で五反田団地線の測量調査設計を予定している。

河川土砂浚渫

問 河川に堆積している土砂の浚渫事業の予定河川は。
答 村管理の椋田川、駒場川、大森川を予定しており、延長約10kmである。
今年度は浚渫箇所の測量調査を行い、次年度以降に土砂の浚渫工事をする予定。



工事再開される尾西2号線



土砂が堆積している椋田川

商品券発行

問 価格高騰対策として今年度も商品券を発行するが、支給時期や使用期間は。
答 一人当たり3千円のひら麻呂商品券を全村民に支給する。7月末から毎戸に郵送し、12月末までの使用期間とする。

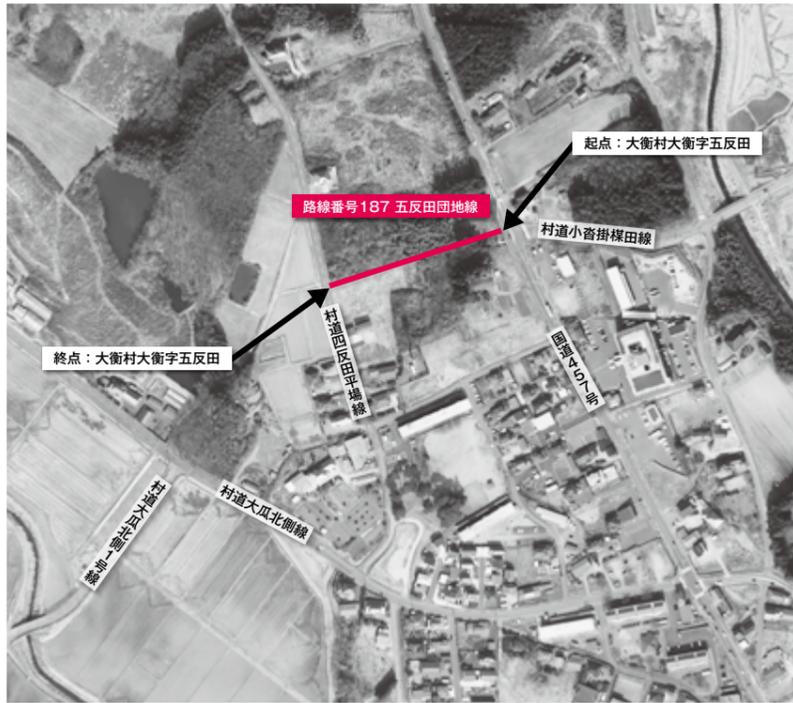
一人当たり3千円のひら麻呂商品券を全村民に支給する。7月末から毎戸に郵送し、12月末までの使用期間とする。

村道認定

五反田地区内に新設村道

◎宅地整備を計画している区域のため、宅地化を推進させるために村道に認定する。

路線名	五反田団地線
起点	大衡字五反田 (国道457号から小沓掛椋田線との交差点)
終点	大衡字五反田 (四反田平場線に接続する路線)
路線延長	約160m



問 村道認定基準の要件と用地の地権者数は。
答 起終点が公道に連絡すること、土地区画整理事業等の施工区域内の道路であることに該当する。定住促進を図る地区計画地内の延長160mである。地権者は3〜4名である。

問 開発用地協議が整わない中で、路線認定と実施調査費補正がセットで提案されている。時期尚早ではないか。
答 道路新設に国庫補助事業を充てるため、路線認定を先行し財源を確保したい。

主な質疑

条例廃止

青少年問題協議会設置条例

◎条例廃止の趣旨

青少年問題は、いじめ問題対策協議会等に引き継がれており、それらの活動において、目的は十分に果たしているため廃止する。

答 各担当課で内容を精査し、見直しをしている。

問 類似する協議会は様々あるが、引き継ぐことができる協議会に関しては見直しが必要ではないか。

答 今までと変わらない。

問 いじめ問題対策協議会に引き継がれているとのことだが、委員会の開催日数や構成メンバーの変更はあるのか。

主な質疑

任命同意

農業委員の任命

農業委員12名を任命することについて議会の同意を求められ、全て同意しました。

任期 3年 (令和5年7月20日~令和8年7月19日)

○賛成 ×反対 議長(高橋浩之)は採決に加わらない。

		山本 信悟	早坂 美華	鈴木 和信	小川 克也	佐野 英俊	赤間しづ江	文屋 裕男	細川 運一	遠藤 昌一	佐々木金彌	石川 敏	高橋 浩之	議決結果 (賛成:反対)
同意第2号	八鍬 光	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第3号	遠藤 政彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第4号	遠藤あけみ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第5号	石川 祐一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第6号	伊藤 正夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第7号	跡部 勉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第8号	小畑 紀夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第9号	小川 豪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第10号	千葉 悦子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第11号	菱沼 達也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第12号	関内 秀樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
同意第13号	橋本裕美子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)

条例制定

男女共同参画推進条例

◎条例制定の趣旨

性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指すため制定する。



男女共同参画プラン (令和4年3月策定)

問 委員会の構成メンバーと具体的な取り組みは。
答 有権者、各種団体、村内企業、県男女共同参画推進部専門官の計8名である。仕事、家庭を両立している女性の方々を対象として、意見交換を行う予定。

問 性別、並びに性別等と区分けをしているが、LGBT等(性的指向・性自認等)について明確に規定できないのか。
答 男女共同参画検討委員会の意見を踏まえて、条例の内容を決定した。

主な質疑

一般質問



8名の議員が村政を問う

質問者一覧表

佐野 英俊

・新村長の目指すまちづくりは

小川 克也

・高校生へ村独自の手厚い支援を

鈴木 和信

・新村長として、少子高齢化対策をどう考えるか

石川 敏

・村長選挙公約の具体的施策を問う

細川 運一

・農地利用の最適化について

文屋 裕男

・有害鳥獣対策について問う

・村で報酬を支給している役職について問う

赤間 しづ江

・五反田・亀岡地区計画の進捗状況を問う

・「置き型授乳室」設置の考えは

山本 信悟

・村長が目指す笑顔で元気な大衡村の具体的な方向性は

一般質問とは

定例会ごとに、村長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質問すること。

次の定例会は

9月5日(火)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局

☎345-6030

✉ gikai@village.ohira.miyagi.jp

令和5年6月定例会提出議案 20件

同意第 2号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第 3号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第 4号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第 5号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第 6号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第 7号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第 8号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第 9号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第10号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第11号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第12号 大衡村農業委員会委員の任命

同意第13号 大衡村農業委員会委員の任命

議案第36号 大衡村男女共同参画推進条例の制定

議案第37号 大衡村青少年問題協議会推進条例の廃止

議案第38号 大衡村子ども・子育て会議条例の一部改正

議案第39号 村道路線の認定

議案第40号 令和5年度大衡村一般会計予算の補正

議案第41号 令和5年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正

議案第42号 令和5年度大衡村水道事業会計予算の補正

報告第 7号 専決処分の報告

◇採決状況◇

○賛成 ×反対 議長(高橋浩之)は採決に加わらない。

議案	山本 信悟	早坂 美華	鈴木 和信	小川 克也	佐野 英俊	赤間 しづ江	文屋 裕男	細川 運一	遠藤 昌一	佐々木 金彌	石川 敏	高橋 浩之	議決結果 (賛成:反対)
同意第2号～第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意 (11:0)
議案第36号～第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11:0)
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11:0)
議案第40号～第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決 (11:0)
報告第7号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告は採決しない

※会議録は大衡村議会ホームページで閲覧できます。



ここから大衡村議会ホームページにアクセスできます。





小川 克也 議員

高校生に手厚い支援を 実現に向け検討していく

村長 子ども・子育て支援事業計画のもと、地域の実情に応じた支援事業が総合的かつ効率的に提供されるように、切れ目のない支援策に取り組んでいきたい。

問 高校生に対しての支援は、万葉すくすく子育てサポート医療費助成しかない。支援拡充の考えは。

村長 子育てにかかる経済的負担の軽減や、安心して子育てができる環境整備のための施策など、総合的な支援を推進し、妊娠期から子育て期まで様々な子育て支援策を実施している。

問 子育て支援策は、村独自の子育て支援策は。

村長 登録者4名である。今後、保護者との進路決定に向けての面談の際に、デマンド型交通の利用について、周知徹底を図っていき

問 デマンド型交通は、高校生によるデマンド型交通の利用状況は。

村長 通学費支援は一部の生徒に限られるため、公平に負担軽減を図れる支援策として、小・中学校の給食費全額無償化を実施している。

問 バス代が毎月負担となっている。通学費に対する支援制度の創設について以前から要望があるが、通学費を助成するべきでは。

村長 高校専用スクールバス、公共交通機関、保護者送迎などの利用が大半である。

問 通学費支援は、本村から各高校への通学手段は。



スクールバス通学費にも支援を

問 教材費支給は、村長公約の「高校等進学した生徒に教材費として3万円を支給する」とは何か。

村長 考える時期にはきているが、現段階では難しい。黒川広域で模索している所もあるので、機会があれば協議していきたい。

村長 財源の問題もある。教材費として、3万円支給の実現に向けて検討していく。

問 現在は大和方面までの運行だが、泉方面まで延伸できないのか。

村長 高校等入学時に教材費の一部として助成したいと考えている。



佐野 英俊 議員

新村長の目指すまちづくりは 村民の声をまちづくりに

問 前村政を受け継ぎ、女性の視点によるまちづくりに取り組むと訴え、第37代村長に就いた村長の目指す村づくり・まちづくりは。

村長 「住んで良かった、来て良かった」と思われるまちづくりを継続し、現場に出向き積極的に村民の声を聞き、政策を具現化させる。

「子育て・教育の推進、村民の力を最大限に活用、産業振興、健康・福祉・安全な地域社会の充実、村民の声をまちづくりに活かす」を5本柱とし事業を展開する。

問 財政運営は、村民の声を聞く施策の実現は、住民の願うところである。今日までの子育て支援策・福祉対策の施策は、進んだ行政運営がなされてきた。目指す「まちづくり」と、直面する公共施設の修繕・更新等の投資的事業などに掛かる財源、財政運営の考え方は。

村長 公共施設等総合管理計画による維持管理と、各施設の現状や老朽化の状況を把握した優先順による長寿命化改修が必要である。財源は企業誘致と都市計画の推進による確保や、歳出の削減など財源の見直しを徹底することが重要と考える。

問 村長を女性が務めることと、県内町村でも女性首長は初めてで村内外からの注目は大きい。期待に応えるべく村長の行政運営への意気込みは。

意気込み



意気込みを述べる小川村長

村長 女性の首長に対する期待と大丈夫かの声は感じている。郡仙台市長と対談し「女性の視点を施策へ」について、指導と力添えを願った。村政運営は、キャッチフレーズの実現に向け、子育て・教育・産業・保健・福

祉・住宅・インフラ整備など、具体的な施策を焦らずに、職員と住民の声を聞きニーズを的確に把握しながら一つ一つ進めたい。



石川 敏 議員

選挙公約の具体的施策は 詳細は未定、今後検討

村長 予算額はまだ算定していない。財源を確保するため企業誘致を進め、税収や雇用拡大に努めたい。

問 必要な予算額はいくらか。その財源はどう確保するのか。

村長 子育て・教育や産業振興など5項目の公約を掲げているが、具体的事業内容は未定である。財源を見据えながら、今後詳細内容を検討していく。

問 具体的事業内容
村長 村長選挙公約に掲げた各施策の、具体的事業内容や予算規模の詳細は、事業実施に向けて、庁内で検討に着手しているのか。

問 事業の検証評価
村長 村の各施策事業を毎年検証評価して、見直しや改善を制度化していくことが必要ではないか。

村長 現在の総合計画は、令和11年度までの計画期間であり、前期計画が経過するころ見直しする予定。実施計画は、来年度の予算編成時に見直ししていく。

問 新たな施策を実施するにあたり、村総合計画や年度ごとの実施計画の見直し変更は考えているのか。

村長 スピード感をもって、出来ることから実現していきたい。長年実施していない村政懇談会を開催し、村民皆さんの意見も聴いていく。

問 スケジュール
村長 各施策事業の実施に至るまでの、スケジュールや年次計画は。

村長 皆さんの声を聴いて、住民にとってより良い施策事業になるよう取り組んでいきたい。

問 公約の実現
村長 選挙公約に掲げた施策はスローガンだけで、具体的内容や予算などが明確でない。村政の責任者として、住民に真に求められる施策の実現に努められたい。



どう描くか村の将来像



鈴木 和信 議員

新村長として、少子高齢化対策は 積極的に検討していく

問 結婚支援
村長 結婚数を増やすことが出生数を増やすので、村独自の結婚支援は。

村長 これから職員とも相談しながら、対策を考えていきたい。

問 少子高齢化の実態
村長 大衡村は、子育て支援については、充実しており好評であるが、近年の1年間に30人以下の出生率では、将来的に非常に不安である。また、高齢化は今後急激に進み、村内老人ホームについては、入所しようとしても現在待機者が100人以上となっている。これは大きな問題であり早急な対応が必要ではないか。

問 特別養護老人ホームの入所待機者が100人以上いる。専門相談員やプロジェクトチームの設置が必要ではないか。

村長 待機者が100人と重要な問題であり、関係機関と協議を進めて早急に検討していきたい。

問 健康な高齢者の支援
村長 65歳以上の村民はパークゴルフ料金を半額やカラオケルームや健康器具の活用を検討しては。

村長 パークゴルフ料金は条例改正が必要である。村内にある老人ホームの健康器具はセキュリティ等の問題で実現に至っていない。

問 介護者のストレス解消
村長 介護者にも休養日が必要であり、介護疲れから介護放棄や介護難民となりがねないため対策が必要ではないか。

村長 介護者が一息つけるような「介護者の集い」を実施している。休養日等についても検討していきたい。



親子のふれあいを大切に
(ベビーのゆったりタイム)



毎日の食事が楽しみです (特別養護老人ホーム七峰荘)



文屋 裕男 議員

有害鳥獣対策を問う

村とみなさんの協力で進める

イノシシ捕獲状況

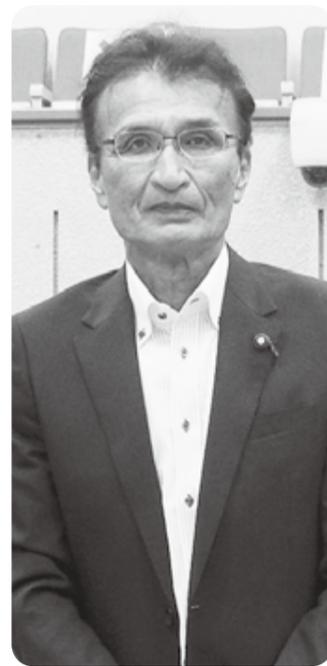
問 最近のイノシシ捕獲頭数は。また、くくりわな※「ほかパト」は誤差動もあるが改善できないか。

村長 捕獲頭数は令和2年度が82頭、3年度と4年度が73頭であり、ほかパトによる捕獲頭数は集計していない。

ほかパトは小動物でも作動することがあるので対策を考えたい。

※ほかパト

無線を利用してわなの作動を知らせる機器



細川 運一 議員

農地の適切な利用は

協議を重ね、地域計画を策定する

農地利用計画

問 農業就業人口の減少と高齢化・水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直しは、農地の荒廃を招くのではないかと心配する。農業委員会は、農地を適切に利用していくために、どのような目標を立てているのか。

村長 令和10年での目標は、担い手の農地利用集積率は、80%・新規参入は、7人で遊休農地面積は、0haとしている。

地域計画

問 人・農地プランの法制化により策定を求められている地域計画への対応は。

村長

地域農業の将来像である地域計画と現況の地図に、農地の出し手と受け手の意向を踏まえた目標地図を令和7年3月末までに策定が義務付けられた。

幅広く参加を呼び掛け、農家や法人の意向を把握しながら、村全体や地区単位各種団体など、いろいろな機会に協議し、計画を作ってきた。

先端技術の導入

問 公約されている未来に向けた農業改革のための具体策は。

村長 地域の担い手として、今後の大衡村の農業を担っていく方々の支援の強化を図っていく。

また、担い手への更なる農地の集積・集約のため、AIやIoT、無人ロボット、ドローンなどの先端技術の導入への支援を検討し、効率的で未来に向けて持続可能な農業を目指していく。

被害防止対策

問 ワイヤーマッシュ柵はいたるところで破損し補修が必要である。侵入防止効果と柵の補修について村の対策は。

村長 イノシシ対策は捕獲駆除、メッシュ柵や電気柵の相乗効果を進めている。柵の補修は地区の協力体制を整えたい。

問 柵の設置は自己の農地だけを囲っている箇所もあり、地区によっては電気柵だけで農地を守っている地域もあるが。

村長 地区の実態により防止策の違いがある。農地をイノシシ被害から守る対策として、メッシュ柵と電気柵設置にも助成している。今後さらに検討したい。

(出典：農林水産省ホームページより)



ドローンによる農薬散布



最先端技術の無人田植機



イノシシによって破損したメッシュ柵



くくりわな設置状況

非常勤特別職の選挙運動は公職選挙法により制限

問 4月の統一地方選挙において、鳥獣被害対策実施隊員に対し、選挙運動禁止の通知が村から出された。他の非常勤特別職に対してはどうなのか。

村長 常勤、非常勤全ての地方公務員は、公職選挙法より選挙運動はできない。鳥獣被害対策実施隊等には産業振興課から通知したが、他の特別職には通知していない。

問 区長や分館長にも報酬を支払っているが非常勤特別職になっていない。他の非常勤特別職も同じ扱いにできないか。

村長 区長、分館長には報酬ではなく謝金として支払っている。非常勤特別職の区分については可能か検討する。



山本 信悟 議員

笑顔で元気な大衡村の方向性は 就労とケアの充実に努める

職員に元気がないと職場内も暗くなり笑顔も元気も少なくなる。休日出勤及び時間外勤務の状況や週一度の一斉退庁の実態は。

村長 村政執行に当たっては、萩原村政を踏襲し、さらに、女性の視点を加えながら、住んで良かった、来て良かったと思われよう。なまちづくりを継続していくもので、具体的な施策を考えている。

具体的方向性
問 村長はリーフレット等で「夢叶え、笑顔で元気な大衡村」と表記し村を良くしようとしているが、具体的な方向性を問う。

村長 疾患の疑いのある職員に対し受診勧告等を所属長へ指導と、職員、及び教員、会計年度任用職員を対象にストレッチエクサを行なっており、その結果を庁内の衛生委員会に諮り、該当職員へ受診勧奨など行うこととしている。

体調ケア
問 職員の体調ケアの対策はどのように行なっているのか。

村長 休日出勤を含め時間外勤務をする際には、所属長、命権者に申し出し、実績を命令簿に記載し、上司、命権者に確認することとしている。
一斉退庁については、水曜日を定時退庁日としており、私も声がけをしているが、緊急時や専門知識を要するものなど、職員の負担が大きくなり定時退庁が難しいことが実情である。業務が改善されるよう努めていきたい。

大衡村の夢
問 村長が思う大衡村の夢は。

村長 みんなが元気で笑顔でいることが一番の夢、そして心の底から言葉がでるような、そんな形が一番の大衡村としての夢だと思っている。



役場全職員での朝礼



赤間しづ江 議員

五反田・亀岡地区計画進捗状況は 用地協力の協議を進めている

地権者との協議
問 五反田地区整備計画区域内の未利用地3.9haについて、民間事業者が手を挙げたことにより、開発の進展が期待されている。関係する地権者数は何名か。また用地協力の協議は進んでいるのか。

村長 地権者数は12名で、現在、民間事業者が用地協力の同意を得るため協議を進めているところである。未利用地の編入については、都市計画の関係から県との協議が必要となり、年度内告示を目標に進めていく。

村道整備計画
問 五反田地区に村道を整備する計画もある。実施設計が令和5年度から令和6

年度に先送りされているがその理由は。
村長 当初予算編成時点で財源調整がなかなかあったためである。今年度に入って財源のめどが立ち、事業着手が図られる見通しで村道路線認定と合せて6月補正予算に測量調査設計費用を計上している。



北四番丁大衡線が接続する国道4号交差点

国道北四番丁大衡線
問 亀岡地区は北四番丁大衡線ルートも関係してくる。大和町から大衡村の国道4号接続までのルートは確定したのか。

村長 県で進めている都市計画街路事業で、今年3月に住民説明会が開催され設計案が示

されている。
国道457号から4号区間について、追加の測量調査を行い、今年度内に基本ルートを確定し、用地買収及び補償の契約に進むと思われる。
早い供用開始を県に要望しているが、現段階では未定。

置き型授乳室設置の考えは 設置に向けて検討

問 県では子育てを社会全体で支える環境づくりのため「置き型授乳室」の普及を目ざしている。
工事不要の個室なので本村も設置を考えて

村長 子ども連れでも安心して出かけられるよう、施設の改善を図ることが重要であると認識している。設置に向けて検討していきたい。



普及が進む置き型授乳室



大衡小学校 6年
よしだ 吉田 みくさん

看護師を目指して

私の将来の夢は、看護師になることです。理由は、以前私が入院した時、看護師さん

にとてもやさしくしてもらったからです。やさしく声をかけてもらったので、「私も看護師になる」という夢をもちました。

看護師になったら、患者さんにやさしく声をかけたいと思います。そして、みなさんから信頼される看護師を目指してがんばりたいと思います。



大衡中学校 2年
わの 和野 翔さん

調理師になりたい

僕の将来の夢は、調理師です。調理師になろうと志したのは小学校6年生の頃でした。「こもれ美」というラーメン

屋へ行き、塩ラーメンを食べたらとてもおいしく、世の中にはこんなにおいしいものを作っている人達がいるのだなと感動し、僕もおいしい料理を作りたいと思うようになりました。

それから、母に手伝ってもらいながら料理を練習して、簡単な料理なら作れるようになります。これからも将来の夢に向かって頑張りたい。

わたしの夢

より住み良い村に

私は県外出身で結婚を機に宮城へ、長男誕生を機にときわ台南団地へ移住し4年半が経ちます。大衡村は移住者支援や子育て支援が手厚く、子育て世代にやさしい地域であると実感しています。

一方、普段の買い物はドラッグストアやスーパー等が多数ある大和町に行くことが多いが少々不便さを感じます。村内に商品券も使えるこのような店があればより利便性が高まるのではないのでしょうか。

ときわ台 松田 志歩さん
まつだ しほ

また、少子化が進む現状では将来地域活動を担う若者が減り、村の活気がなくなることに懸念されます。若者こそ「村長への手紙」や選挙投票など、村政にも関心を示し積極的に声を挙げるのが大切です。大衡村は他地域より意見が反映されやすい地域だと思います。一人ひとりが行動を起こすことで、10年後20年後も子どもから高齢者まで「より住み良い村」をみんなで作っていききたいです。

みんなの声



子育て安心だね♪

表紙写真



おおひら万葉子ども園の七夕誕生会が開かれ、7月生まれの園児を歌や踊りで楽しくお祝いしました。

あとがき

新村長が就任して初めての定例会が開催され、一般質問では、今後の村政運営について新たな視点で活発な質疑が行なわれました。

議会だよりも新しい編集委員で、皆さんの意見なども掲載し、親しまれる紙面づくりに努めています。

石川 敏
編集
広報広聴常任委員会
発行責任者
議長 高橋 浩之

